

# 修練会の気になる 1 冊 (ほん・本・ブック)

公益財団法人豊島修練会 令和3年6月 (通算第56号)

## 子どものほん (子ども、小学生&中学生)

高濱正伸著「メシが食える大人になる！よのなかルールブック」

日本図書センター 本体 1430 円

この本は大人が読んで子供に教えるために書いたものです。でも子供が読んで「すぐに嫌い、苦手と言って、自分の世界をせばめない」「しかられることにくじけない」「なぜだろうと考える習慣を身に付ける」など50ものことが学べます。

図書館などで読んで、お家の人と話し合ってみましょう。



## 大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)



平山英三・文、平山和子・絵「おにぎり」福音館書店 本体 990 円

日本人は子供も大人も「おにぎり」が大好きです。この本は幼児向け(2歳から小学校1年程度)の絵本で、おにぎりの作り方が分かりやすく説明されています。

小さな子には読んで聞かせ、字が読める子には自分で読ませて、「おにぎり」つくりをさせたらいかがでしょうか。「ここは、こうするといひよ・・・」と、おうちの人の出番もあります。

「ご飯を炊いて、手のひらに水をつけて、塩を少しつけて、熱々のご飯を手の平にのせて、ぎゅっ、ぎゅっと固めて、真ん中に梅干しを埋めて、手の中でぐるぐるまわして、海苔をまいたら、幸せのかたまり「おにぎり」の出来上がり」となります。いろいろな材料で、「我が家のおにぎり」も作ってみましょう。

## 学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

伊藤由佳理著「美しい数学入門」 岩波新書 本体 902 円

新学習指導要領では、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力」の育成、「主体的に学習に取り組む態度」の涵養を目指しています。そして、数学科では、「数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考えたり、数学を生活や学習に活用したり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている(算数科も同様の趣旨)」ことを評価することになりました。しかし、少し難しいところがあるので、どういふことで、どのような価値があるかが、分かりにくい所は飛ばして読んでも理解できると思います。

算数嫌い、数学嫌いをつくらず、楽しく学べるように指導するヒントを、本書の中から探してみてください。(積読の H.K)

★備考★話題提供のために紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。

[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「気になる 1 冊」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。



